

登録番号 第 19923 号

## アプロード®フロアブル

- 幼虫の脱皮を阻害し、齢末期～脱皮時に死亡させる昆虫成長制御剤です。  
 特長： ●多くの天敵に対して影響が少なく、天敵の保護活用場面にも適した薬剤です。  
 ●フロアブル製剤のため薬剤の秤量がしやすく、作物に対する汚れも少ない。

アプロードは日本農薬(株)の登録商標です。

有効成分	ブプロフェジン（化管法第1種）・・・20.0%	包装	100mL×10×6
その他化管法 該当成分	—		
性状	類白色水和性粘稠懸濁液体	有効年限	4年
毒性	普通物*	危険物	—

※普通物：「毒物及び劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

## 【適用病害及び使用方法】

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ブプロフェジンを含 む農薬の 総使用回数
稲	ツマグロヨコバイ幼虫 ウンカ類幼虫	1000倍	60～150L/10a	収穫7日前 まで	4回以内	散布	4回以内 (小包装投入は 1回以内)
	ツマグロヨコバイ幼虫 ウンカ類幼虫	300倍	25L/10a				
みかん	カイガラムシ類幼虫 ミカントゲコナジラミ若齢幼虫	1000倍	200～700 L/10a	収穫14日前 まで	3回以内	散布	3回以内
かんきつ (みかんを 除く)	カイガラムシ類幼虫 ミカントゲコナジラミ若齢幼虫	1000倍	200～700 L/10a	収穫45日前 まで	3回以内	散布	3回以内
りんご	カイガラムシ類幼虫	1000～ 1500倍	200～700 L/10a	収穫30日前 まで	2回以内	散布	2回以内
なし	カイガラムシ類幼虫	1000倍	200～700 L/10a	収穫30日前 まで	2回以内	散布	2回以内
もも	カイガラムシ類幼虫	1000倍	200～700 L/10a	収穫14日前 まで	3回以内	散布	3回以内
ネクタリ ン	カイガラムシ類幼虫	1000倍	200～700 L/10a	収穫7日前 まで	2回以内	散布	2回以内
すもも	カイガラムシ類幼虫	1000倍	200～700 L/10a	収穫14日前 まで	2回以内	散布	2回以内
あんず	カイガラムシ類幼虫	1000倍	200～700 L/10a	収穫30日前 まで	1回	散布	1回

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ブプロフェジンを含 む農薬の 総使用回数
うめ	カイガラムシ類幼虫	1000 倍	200～700 L/10a	収穫 7 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
くるみ	カイガラムシ類幼虫	1000 倍	200～700 L/10a	収穫 7 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
おうとう	カイガラムシ類幼虫	1000～ 1500 倍	200～700 L/10a	収穫 7 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
ぶどう	カイガラムシ類幼虫	1000 倍	200～700 L/10a	収穫 30 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
	フタテンヒメヨコバイ幼虫	3000 倍					
いちじく	カイガラムシ類幼虫	1000 倍	200～700 L/10a	収穫 14 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
パッショ ンフルーツ	カイガラムシ類幼虫	1000 倍	200～700 L/10a	収穫 14 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
マンゴー	カイガラムシ類幼虫 チャノホコリダニ	1000 倍	200～700 L/10a	収穫 3 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
ねぎ	ネダニ類	500～ 1000 倍	1～3L/m <sup>2</sup>	収穫 14 日前 まで	1 回	株元 灌注	1 回
にら	ネダニ類	500～ 1000 倍	1～3L/m <sup>2</sup>	収穫 14 日前 まで	1 回	株元 灌注	1 回
あさつき (伏せ込み 栽培)	ネダニ類	500 倍	3L/m <sup>2</sup>	植付時	1 回	株元 灌注	1 回
らっきよ う	ネダニ類	250 倍	-	植付前	1 回	30 分 間種球 浸漬	4 回以内 (種球への処理は 1 回以内、 株元灌注は 3 回以内)
		500 倍	1～3L/m <sup>2</sup>	収穫 21 日前 まで	3 回以内	株元 灌注	
茶	クワシロカイガラムシ若齢幼虫	1000 倍	1000L/10a	摘採 14 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
樹木類	カイガラムシ類幼虫	1000 倍	200～700 L/10a	-	6 回以内	散布	6 回以内

#### 使用上の注意事項

- (1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- (2) なしの萌芽期から新梢伸長期に使用する場合、薬液が乾きにくい条件下では、葉に褐色斑点等の薬害が生じるおそれがあるので、注意して使用する。但し、施設栽培ではこの時期での使用をさける。
- (3) にらに対して、年間複数回収穫を行う作型において本剤を連続で使用すると薬害を生じる場合があるので注意する。
- (4) 葉ねぎに対して、本剤を使用すると薬害を生じる場合があるので、事前に薬害の有無を確認してから使用する。
- (5) 本剤を本田の水稲に対して希釈倍数 300 倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用する。
- (6) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

(7) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

**人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法**-----

- (1) 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗する。
- (2) 種球浸漬の際は不浸透性手袋などを着用する。
- (3) 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。

**水産動植物に有毒な農薬については、その旨**-----

この登録に係る使用方法では該当がない。

**引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨**-----

通常の使用方法ではその該当がない。

**貯蔵上の注意事項**-----

直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。